



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 林兼産業株式会社  
 コード番号 2286 URL <http://www.havashikane.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 熊山 忠和  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長 (氏名) 松尾 和成  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 083-266-0210

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,714	3.4	586	—	556	—	309	—
27年3月期第2四半期	22,943	3.4	△109	—	△133	—	△129	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 408百万円 (322.5%) 27年3月期第2四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	3.47	—
27年3月期第2四半期	△1.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	29,633	—	5,425	—	—	16.2
27年3月期	27,022	—	5,026	—	—	16.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,795百万円 27年3月期 4,422百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,200	3.2	550	27.7	450	0.3	300	△21.8	3.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 会計方針の変更の詳細については、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	89,100,000 株	27年3月期	89,100,000 株
28年3月期2Q	65,569 株	27年3月期	63,866 株
28年3月期2Q	89,035,412 株	27年3月期2Q	89,036,775 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く緩やかな回復基調にありましたが、中国経済の減速を背景に輸出が伸び悩むなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。食品業界におきましては、新興国の需要拡大や円安などにより原材料価格の高騰が続き、メーカー各社は厳しい経営環境に置かれました。

このような状況のなか当社グループは、「第二次中期経営計画(2ヵ年経営計画)」(平成27年3月期～平成28年3月期)のもと、その基本方針である「売上最大」「品質最高」「経費最小」に基づく諸施策を実施することで、売上拡大戦略による収益基盤の改善と持続的な事業発展を目指してまいりました。

「売上最大」については、魚肉ねり製品の海外輸出や国内業務用ルート開拓、養魚用飼料の輸出拡大や、魚粉事情に影響されにくい新時代飼料の開発・普及に注力いたしました。また、食肉加工品においては、スターゼン株式会社(東京都港区)との業務提携強化によるOEM(相手先ブランド供給)製品の数量拡大に取り組むとともに、自社ブランド「霧島黒豚」の販売強化・ブランド強化を図り、売上拡大に努めました。

「品質最高」については、より一層の「安全・安心」のため、品質管理体制の強化に取り組むとともに、フードディフェンス強化による安全対策やポルフ手法(工場革新のための実践プログラム)により高品質を追求した製品づくりに努めました。

「経費最小」については、ゼロベース思考により業務を見直すことで、在庫圧縮、時間短縮、生産性の向上に努め、全社的なコスト削減に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、魚肉ねり製品や食肉加工品の販売数量増加などにより237億14百万円(前年同期比3.4%増加)となりました。損益面におきましては、売上の増加や原材料価格の高騰に対応した価格改定、コスト削減などにより営業利益5億86百万円(前年同期は1億9百万円の損失)、経常利益5億56百万円(前年同期は1億33百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、ハラル食品事業における特別損失(貸倒引当金繰入額)1億10百万円の計上などもあり、3億9百万円(前年同期は1億29百万円の損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、魚肉ソーセージの主力取引先への販売強化や中国・香港への輸出拡大に努めたことにより、増収となりました。

機能性食品におきましては、高齢者向けソフト食「ソフミート」や和菓子などの販売が順調に推移したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は19億95百万円(前年同期比14.4%増加)、セグメント損失(営業損失)は36百万円(前年同期は38百万円の損失)となりました。

#### ②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、スターゼングループとの連携強化によるウインナーの販売数量増加や昨年行った価格改定などにより、増収となりました。

肉類におきましては、猛暑の影響により豚肉の国内生産量が減少するなか、豚肉の販売数量が減少したものの、鶏肉の売上が増加したことにより、増収となりました。

調理食品におきましては、惣菜の売上が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は100億37百万円(前年同期比5.7%増加)となりました。損益面においては、増収効果によりセグメント利益(営業利益)は2億54百万円(前年同期は56百万円の損失)となりました。

### ③飼料事業

養魚用飼料におきましては、台風や赤潮発生により夏場の給餌量が伸びず、国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社は輸出拡大や原材料価格の高騰に対応した価格改定に取り組んだ結果、増収となりました。

水産物におきましては、鰻相場は堅調に推移したものの、ハマチ・カンパチの販売数量が減少したことにより、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、採卵鶏用飼料の採算性を重視した取引に努めたことにより、販売数量が減少し、減収となりました。

これらにより、売上高は105億55百万円（前年同期比0.3%増加）となりました。損益面においては、固定費の削減や鰻などの水産物相場が堅調に推移したことなどによりセグメント利益（営業利益）は7億33百万円（前年同期比72.6%増加）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債、純資産の状況

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間の資産合計は296億33百万円となり、前連結会計年度に比べ26億11百万円の増加となりました。

流動資産の増加（前連結会計年度比15億59百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が11億17百万円、原材料及び貯蔵品が2億92百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加（前連結会計年度比10億52百万円増加）は、主に破産更生債権等が10億47百万円増加したことなどによるものです。

#### （負債及び純資産）

当第2四半期連結会計期間の負債合計は242億8百万円となり、前連結会計年度に比べ22億12百万円の増加となりました。

流動負債の増加（前連結会計年度比14億36百万円増加）は、主に買掛金が11億54百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加（前連結会計年度比7億75百万円増加）は、主に長期借入金が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産合計は54億25百万円となり、前連結会計年度に比べ3億99百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億9百万円を計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は16.2%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローは減少したものの、財務活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ1億75百万円増加の15億73百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は4億52百万円（前年同期は3億64百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上が4億28百万円、仕入債務の増加が10億37百万円あったものの、売上債権の増加が20億71百万円あったことなどによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は3億8百万円（前年同期は3億8百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入が31百万円、投資有価証券の売却による収入が35百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が3億16百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は9億38百万円(前年同期は7億26百万円の増加)となりました。これは主に長期借入金返済による支出が9億61百万円あったものの、長期借入れによる収入が15億61百万円あったことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復が期待されるものの、食品業界においては原材料価格の高騰や物価上昇による買い控えなど、厳しい経営環境が続くと予想されます。

こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は損益面において当初予想を上回ったものの、原材料価格動向等の先行きが不透明であることから、通期の業績予想に変更はございません。

なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。)及び「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。

また、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合に関する会計基準等の適用については、企業結合に関する会計基準第58-2項(4)及び連結財務諸表に関する会計基準第44-5項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,765,256	1,840,223
受取手形及び売掛金	4,485,053	5,602,833
商品及び製品	2,059,188	2,130,213
仕掛品	1,999,134	1,963,276
原材料及び貯蔵品	1,440,658	1,732,735
その他	200,274	240,336
貸倒引当金	△9,937	△10,837
流動資産合計	11,939,628	13,498,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,738,084	3,642,690
土地	4,227,395	4,198,093
その他(純額)	1,901,721	2,073,055
有形固定資産合計	9,867,200	9,913,839
無形固定資産		
	48,741	43,052
投資その他の資産		
投資有価証券	3,340,475	3,423,304
破産更生債権等	2,817,369	3,864,832
その他	283,084	275,041
貸倒引当金	△1,274,361	△1,384,905
投資その他の資産合計	5,166,568	6,178,274
固定資産合計	15,082,510	16,135,165
資産合計	27,022,138	29,633,947
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,628,913	3,783,277
短期借入金	10,367,303	10,695,111
未払法人税等	60,842	114,723
賞与引当金	170,796	278,001
その他	1,845,014	1,638,344
流動負債合計	15,072,871	16,509,458
固定負債		
長期借入金	3,754,849	4,360,857
退職給付に係る負債	2,106,524	2,054,286
資産除去債務	5,930	5,930
その他	1,055,930	1,277,931
固定負債合計	6,923,234	7,699,005
負債合計	21,996,106	24,208,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	5,989	5,989
利益剰余金	484,740	793,752
自己株式	△6,545	△6,775
株主資本合計	3,899,204	4,207,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	637,055	683,913
為替換算調整勘定	2,493	8,645
退職給付に係る調整累計額	△115,883	△104,612
その他の包括利益累計額合計	523,666	587,946
非支配株主持分	603,160	629,550
純資産合計	5,026,031	5,425,484
負債純資産合計	27,022,138	29,633,947



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	22,943,970	23,714,158
売上原価	19,940,543	20,104,099
売上総利益	3,003,426	3,610,058
販売費及び一般管理費	3,113,039	3,023,404
営業利益又は営業損失(△)	△109,612	586,654
営業外収益		
受取配当金	43,344	43,685
その他	101,653	94,989
営業外収益合計	144,998	138,675
営業外費用		
支払利息	148,156	140,684
その他	20,866	27,976
営業外費用合計	169,022	168,660
経常利益又は経常損失(△)	△133,636	556,668
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,308
その他	53,448	114
特別利益合計	53,448	22,422
特別損失		
固定資産廃棄損	1,020	37,421
貸倒引当金繰入額	—	110,036
その他	—	3,194
特別損失合計	1,020	150,652
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△81,208	428,439
法人税、住民税及び事業税	36,179	109,934
法人税等調整額	△2,995	△25,038
法人税等合計	33,183	84,896
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△114,392	343,543
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,214	34,531
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△129,607	309,012

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△114,392	343,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,278	47,636
退職給付に係る調整額	93,177	11,270
持分法適用会社に対する持分相当額	△358	6,159
その他の包括利益合計	211,098	65,065
四半期包括利益	96,705	408,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,265	373,292
非支配株主に係る四半期包括利益	20,440	35,316

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△81,208	428,439
減価償却費	377,534	381,068
持分法による投資損益(△は益)	△26,324	△15,235
有形固定資産売却損益(△は益)	△53,448	3,080
有形固定資産廃棄損	1,020	37,421
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17,121	111,442
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,927	107,204
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30,854	△40,968
受取利息及び受取配当金	△44,674	△46,520
支払利息	148,156	140,684
売上債権の増減額(△は増加)	△1,924,319	△2,071,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△197,633	△327,244
仕入債務の増減額(△は減少)	1,477,539	1,037,879
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△1,094
未払消費税等の増減額(△は減少)	57,448	△42,162
その他	△31,292	△14,236
小計	△223,298	△312,157
利息及び配当金の受取額	46,388	47,299
利息の支払額	△148,789	△141,177
法人税等の支払額	△38,317	△46,921
営業活動によるキャッシュ・フロー	△364,017	△452,957
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△190,601	△40,406
定期預金の払戻による収入	60,000	5,005
有形固定資産の取得による支出	△230,777	△316,715
有形固定資産の売却による収入	90,571	31,256
無形固定資産の取得による支出	△3,800	△900
投資有価証券の取得による支出	△2,928	△2,236
投資有価証券の売却による収入	—	35,390
その他	△31,302	△20,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308,838	△308,977
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	330,000	470,000
長期借入れによる収入	1,497,000	1,561,000
長期借入金の返済による支出	△947,418	△961,005
リース債務の返済による支出	△143,790	△122,756
非支配株主への配当金の支払額	△8,920	△8,926
その他	△84	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	726,786	938,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△345	△401
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53,585	175,745
現金及び現金同等物の期首残高	1,834,053	1,397,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,887,638	1,573,641

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,744,673	9,494,760	10,522,896	21,762,330	1,181,640	22,943,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,945	78,690	771,939	869,576	235,168	1,104,744
計	1,763,619	9,573,450	11,294,836	22,631,906	1,416,808	24,048,715
セグメント利益又は損失(△)	△38,609	△56,182	424,969	330,178	102,070	432,248

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	330,178
「その他」の区分の利益	102,070
セグメント間取引消去	△1,880
全社費用(注)	△539,979
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△109,612

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,995,238	10,037,205	10,555,577	22,588,021	1,126,137	23,714,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,075	86,296	817,801	917,173	219,927	1,137,100
計	2,008,313	10,123,501	11,373,378	23,505,194	1,346,065	24,851,259
セグメント利益又は損失(△)	△ 36,577	254,100	733,431	950,954	143,298	1,094,252

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	950,954
「その他」の区分の利益	143,298
セグメント間取引消去	6,381
全社費用(注)	△513,980
四半期連結損益計算書の営業利益	586,654

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。